学習シラバス　　公民科

科　目　名	単 位 数	学　科・学　年・類　型
現代社会	2	普通科・第１学年

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	1　人間の尊重と科学的な探究の精神に基づき、広い視野に立って現代の社会と人間について理解を深めます。 2　現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断できる能力を育成します。 3　人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。
使用教科書・副教材等	高等学校　改訂版　現代社会（第一学習社） 現代社会ノート（第一学習社） 最新図説　現社（浜島書店）

2　学習計画及び評価方法等

(1)　学習計画等

学期	学　習　内　容	月	学　習　の　ね　ら　い	考査範囲
1学期	第１章 現代に生きる青年	4 5	青年期の意義と自己形成の課題、現代社会における青年の生き方などについて学びます。	中間考査
	第２章 個人の尊厳と法の支配 第３章 現代の民主政治と政治参加の意義	6 7	民主政治における個人と国家の関係や、基本的人権と法の支配、イギリスやアメリカなど世界のおもな政治体制について学びます。 日本国憲法の基本原理、平和主義と安全保障について学びます。 基本的人権の保障と新しい人権について学びます。	期末考査
	【課題・提出物等】 ノート・ワークブック・復習課題 など			
	【１学期の評価方法】 考査成績（中間考査・期末考査）・ノート・ワークブック・各種の課題・日常の学習活動を総合的に評価します。			
2学期	第３章 現代の民主政治と政治参加の意義	8 9	国家の統治機構として国会・内閣・裁判所の役割について学びます。 地方自治、世論形成、政党政治、選挙制度などについて学びます。	中間考査
	第４章 国際政治の動向と日本の役割 第５章 現代の経済社会と私たちの生活	10 11 12	国家主権と国際法、国際連合の役割、今日の国際社会問題、国際平和領土問題、地域紛争、人種・民族問題などについて学びます。 経済社会と経済体制、企業の役割、市場経済のしくみ、経済成長と景気変動などについて学びます。 財政の役割、金融機関のはたらき、戦後の日本経済の動き、産業構造の変化などについて学びます。	期末考査
2学期	【課題・提出物等】 ノート・ワークブック・復習課題・夏季休業中課題 など			

	【２学期の評価方法】 考査成績（中間考査・期末考査）・ノート・ワークブック・各種の課題・日常の学習活動を総合的に評価します。			
３学期	第５章 現代の経済社会と 私たちの生活 第６章 国際経済の動向と 日本の役割 第７章 現代に生きる倫理	1 2 3	雇用と労働問題、公害の防止と環境保全、消費者問題、社会保障などについて学びます。 国際経済のしくみと貿易、経済のグローバル化、発展途上国の経済と南北問題などについて学びます。 世界の宗教や、日本の伝統的なものの考え方、西洋の思想などについて学びます。	学年末考査
	【課題・提出物等】 ノート・ワークブック・復習課題・冬季休業中課題など			
	【３学期の評価方法】 学年末考査成績・ノート・ワークブック・各種の課題・日常の学習活動を総合的に評価します。			
【学年末の評価方法】 １学期成績・２学期成績・３学期成績の算術平均にもとづいて、総合的に評価します。				
確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・「現代社会」を学ぶことは､君たちの生活の場を理解するということです。常に「なぜ」という疑問を持ち、探求的に思索してください。 ・複雑な現代社会を正しく認識するために、新聞・ＴＶなどのニュースに関心を持ちましょう。その際、単に現象面だけにとらわれることなく、ものごとを広い視野で捉えることが大切です。			
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・毎時間、教科書やノートを使って予習し、課題は仕上げておいてください。 ・授業開始のチャイムが鳴るまでに、教科書・授業ノート・筆記用具などをきちんと準備して着席し、授業がすぐに始められるようにしてください。 ・授業後には、教科書・ノート等を用いて復習しておいてください。特に、授業を欠席をした場合は、友人の助力を得て必ず授業内容を把握しておいてください。			

(2)　評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求しているか。 ・平和で民主的な社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、その自覚を深めようとしているか。	・定期考査 ・授業参加の姿勢 ・ノートの内容 ・課題等の内容と提出状況
思考・判断・表現	・現代社会の諸問題から自らの課題を見出し、広い視野に立って多面的・多角的に考察しているか。 ・社会の変化や様々な立場を踏まえ、主体的に考え公正に判断しているか。 ・問題解決のために調査・検討・考察した過程やその結果などを、適切な方法で表現しているか。	・定期考査 ・質問に対する発表内容 ・課題等の内容
資料活用の技能	・現代社会の諸問題に関する資料を、メディアを通して集め､そこから情報を主体的に選択･活用しているか。	・定期考査 ・質問に対する発表内容 ・課題等の内容
知識・理解	・現代社会の諸問題について人間尊重と科学的探求の精神に基づいて理解するとともに､その知識を身に付けているか。	・定期考査 ・質問に対する発表内容 ・ノートの内容 ・課題等の内容